

令和2年度 年間指導計画を見直す際の参考資料

中学校 第3学年 「国語（三省堂）」

74時間（70%）

週	重点に置く指導事項	単元名	小単元名	時間数	留意点	
1	Cア	学びの扉をひらく	水のようなひと 【隠された意味】	1	・各連でたとえているものを想像しながら繰り返し朗読することを中心の活動とする	
	Cイエ		間の文化 【対比】	3	・事例の提示の仕方を捉え、日本と西洋の文化の違いについて自分の意見をもつことを中心の活動とする	
2	Cイ	1 かわりを捉える	握手 【回想】	4	・登場人物の置かれた状況や言動に着目して人物像を捉えることを中心に指導する	
3	伝イ（イ）		ことば発見1 和語・漢語・外来語	1	・「確かめよう」は家庭での課題とし、後日確認する	
	Bイウ		論理の展開を工夫して、説得力をもたせる小論文	4	・論理の展開や引用の仕方を工夫して説得力のある文章を書くことを中心の活動とする	
4	Cア	2 ことばを磨く	俳句の世界／俳句十句	4	・「俳句の世界」を参考に、俳句を創作し、句会を通して様々な感性に触れることを単元のゴールの姿とする ・「俳句十句」の俳句は、ワークや資料集等を利用して表現の特徴をおさえ、創作の参考とさせる	
5	Aエ		表現プラザ① 句会をひらこう			・「句会の進め方」に従って句会を行う（状況によって時期を入れ替える）
	伝イ（イ）		文法のみど 表現につながる文法	1	・208ページを参考に、同じ意味をもつ語句でも言いたいことの伝わり方と相手に与える印象が違うことを指導する ・「確認しよう」は家庭での課題とし、後日確認する	
6	Aイウ Cオ		状況に応じて話す力を養う ブックトーク	3	・今までの読書生活を振り返り、相手と場面にに応じて紹介する本を考えさせる ・終了後、質問を中心にした振り返りを行う	
7	Cオ		〔読書〕花や咲く咲く	2	・一読し、あらすじを捉え、簡単な感想をまとめた後、コラムを読ませる ・学校図書館を活用して、同じテーマや同じ作者の別の本を選び、簡単な感想を書く課題を出す	
8	Cイエ	3 多角的に考える	フロン規制の物語ー（紀憂）と（転ばぬ先の杖）のほごまで 【小見出し】	4	・「読み方を学ぼう」を参考に、小見出しの付け方の工夫と効果について考えることを中心の活動とする	
9	Aアエ		合意を形成し、課題を解決する企画会議	4	・教科書の企画会議の例を基に、合意を得られる話し合いをするためのそれぞれの役割について理解させる ・地域の活性化に向けて提案するために、役割を分担して企画会議を開く（総合との関連も可能）	
10	Cア 伝ア（ア）	古典に学ぶ	和歌の世界ー万葉集・古今和歌集・新古今和歌集	3	・和歌一首一首を詳細に理解させるのではなく、それぞれの歌集の特徴をおさえることに重点をおく	
11			おくのほそ道	4	・各場所の概要を捉えさせながら紀行文の特徴をおさえ、作者のものの見方に触れさせる ・印象に残った句を引用して内容を紹介する文章を書くことを通して、引用の方法を指導する	
12			Cエ 伝ア（ア）	論語 古典情報 漢文の読み方	2	・漢文特有の言い回しをおさえ、注釈からとらえた孔子の考え方を、自分の生活と関連付けて考えることを中心の活動とする
			伝イ（イ）	漢字のしくみ 慣用句・ことわざ・四字熟語	1	・「確かめよう」は家庭での課題とし、後日確認する
	書写	文字を効果的に使う		1	・手書き文字と活字文字の特徴をおさえる	
13	Cアウ	4 情報を読み解く	情報社会を生きるーメディア・リテラシー	3	・文章の構成や表現の仕方を捉え、それらを評価することを中心の活動とする	
			新聞記事を読み比べよう			・論理の展開を比較させることを中心に指導する
	伝イ（ア）		ことば発見2 敬語の機能と敬意表現	1	・状況に応じた効果的な敬語の使い方、さまざまな敬意表現について考えることを中心の活動とする	
14	Bアエ		観察や分析をとらえて、判断する 批評文	4	・社会生活から関心のある事柄を選ばせる際、観点を立てて分析することに重点を置いて指導する ・論理の展開の仕方について評価し、自分の表現に役立てる交流活動を行う	
15	書写	様々な文字や筆記具		1	・筆記具の特徴とそれぞれの効果をおさえる	
	Cウ	5 読みを深め合う	初恋	1	・表現上の工夫点に注意しながら、朗読することを中心の活動とする	
16	Cアイエ		故郷 【人物設定】	4	・本文が長いので、家庭で事前に読むことを課題とし、導入段階で大まかなあらすじを確認する ・現在と過去の対比表現や登場人物の設定の仕方に着目して内容を捉え、作品の構成や展開について批評することを中心の活動とする	
17	伝イ（ア）		ことば発見3 ことばの現在・過去・未来	1	・「確かめよう」は家庭での課題とし、後日確認する	
	Bエ		表現プラザ② 漢字一字で表現すると（※1）	2	・学習の流れにそって活動する（作品は掲示し、それぞれのよさを記録する評価表を配布してもよい）	

18	書写	書写技能のまとめ		1	・行書の特徴を中心に確認する（毛筆と硬筆） ・（※1）と関連させてもよい
	Cエ	6 広がる世界へ	「文殊の知恵」の時代	2	・筆者の主張を捉えた上で、これからの社会について考え、自分の意見をもつことを中心の活動とする
19	Aイエ		問いをもとに語り合う ワールド・カフェ	2	・ワールド・カフェというみんなで知恵を生み出す話し合いの方法を理解し、テーマ例を参考に、ワールド・カフェを体験することを中心の活動とする
	Cオ		坊っちゃん	2	・「坊っちゃん」の続きや夏目漱石の作品や近代文学の作品を読むきっかけとなるよう指導する
20	A B		中学校生活を振り返って 名言集 (※2)	5	・1年間の「話すこと・聞くこと」、「書くこと」のまとめとし、生徒の実態に合わせて、補強が必要と思われる指導事項に重点を置いて指導する
21	伝イ（既習）		三年間の文法の総まとめ	1	・事前に総まとめのワークシートを家庭での課題とし、生徒の実態に合わせてポイントを絞って指導する
	書写	一年間のまとめ		2	・（※2）と関連させてもよい（名言集の表紙等）

【時間数の精選方法（例）】

○3領域のどの指導事項に重点を置くのかを明確にする

・各領域ともに、複数の指導事項を万遍なく指導するのではなく、この教材では、どのような力（指導事項）を身につけさせるのかを明確にすることで、授業時間の削減が可能となります。例えば、単元1「握手」では、指導事項イの「場面や登場人物の設定の仕方」を中心に指導し、単元5「故郷」では、指導事項エ「文章を読んで人間、社会について考え、自分の意見をもつ」のために、互いの意見を交流させる指導を行います。「書くこと」、「話すこと・聞くこと」も同様の考え方で

○小単元をまとめて指導したり、家庭での課題にして補ったりする

・「漢字のしくみ」「ことば発見」「文法のまど」については、まず、指導内容が既習事項なのか、新しい内容なのかを確かめます。新しい内容の場合、あわせて指導できる内容があるかを考えます。練習問題については、教科書巻末の問題やワーク等を家庭の課題とすることで、授業時間の削減が可能となります。なお、家庭での課題とする場合、生徒の達成状況を把握し、個への支援が必要なこともあります。

○読書単元は学校図書館を活用し、言語活動と結びつけ、読書生活を豊かにする

・読書教材については、指導事項が「読むこと」オ（※） になりますので、詳細な読みは行わないのが一般的です。言語活動例を参考にして、読書と言語活動を結びつけ、3領域の資質・能力を向上させるのが望ましいとされます。また、「読書」「読書活動」では、学校図書館を活用し、家庭での読書を促し、幅広い読書をさせることが可能となります。

○書写は取り立てた指導だけではなく、「書くこと」と関連させた指導も行う

・書写の指導については、中学3年生では、10単位時間程度行うものとあります。三省堂では、名言集を作成したり批評文を書いたりする「書くこと」の領域の学習において、例えば、名言集の表紙や原稿用紙の書き方を通して、配置・配列や漢字と仮名の調和、効果的な文字の書き方といった指導事項をおさえることが可能です。（本資料では、書写に取り立てた指導を5時間（50%）で作成しています。）

○感染症予防対策を踏まえた学習活動の工夫を行う

・教材文等の音読は、マスクをつけることや大きな声を出さないことを指示します。ペアや少人数での話し合い活動も、マスクや声の大きさなどを配慮して行いますが、教室の状況や生徒の実態によっては当分の間控えた方がよいでしょう。また、スピーチやプレゼンテーションなど、相手に向けて話す活動は、一定の距離をとって行います。インタビューなどのフィールドワークは、書くことの「情報の収集」と関連させるなど、単元の組み替えを行います。

※本資料は、中学校学習指導要領（平成20年9月）によって作成しています。